

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 087	提案機関名 神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課
要望問題名 ナラ枯れの媒介昆虫であるカシノナガキクイムシの生息状況の把握及び被害木からの脱出時期の予測の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 平成29年8月から9月にかけて、神奈川県内において、カシノナガキクイムシ（以下、「カシナガ」という。）という昆虫が媒介する「ナラ菌」という病原菌によって、コナラ等のナラ類やシイ・カシ類の健全な樹木が枯死する現象である「ナラ枯れ」が初めて確認された。 ナラ枯れの仕組みは、昨年の被害木の樹体内から脱出したカシノナガの成虫が、集合フェロモンに誘引されて新たな健全木に穿入し、カシナガと一緒に樹体内に入った「ナラ菌」の作用により、樹木が水分を吸い上げることが出来なくなるため枯死するものである。 よって、ナラ枯れ被害木を放置すると、カシナガの生息域の拡大に伴い、未被害地へ被害が拡大することが懸念されることから、カシナガが被害木内から脱出するまでの間に、薬剤処理や焼却等により駆除することが必要である。 しかしながら、現段階では、県内のカシナガの生息状況、また、カシナガの被害木から脱出する時期について、把握出来ていないのが現状である。 そこで、県内のカシナガの生息状況を調査し、また、カシナガの被害木からの脱出時期を予測することにより、効果的な被害対策技術を開発することを要望する。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	研究企画部研究連携課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) ナラ枯れ対策の支援		
対応の内容等	平成29年に神奈川県内で初めて確認されたナラ枯れは、今後県内で拡大していくことが懸念されることから、効果的な対策の実施に向けて、ナラ枯れを媒介するカシノナガキクイムシの生息状況や成虫の脱出時期といった県内での生態情報を収集する必要があると考えています。当センターでは平成25年からフェロモン誘引トラップによるカシナガの生息状況調査を実施していることから、これを水源環境保全課や各地域県政総合センター等と連携しながら県内広域で継続して実施し、得られた情報を速やかに共有することで注意喚起を行い、効果的な被害の発見と対策の実施を支援していく考えです。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			